

第3回コミュニケーション・セミナー



この日のセミナーでは、コミュニケーションのとり方で、相手のモチベーションや、その場の雰囲気が変わることを確認。またコミュニケーションをとる際に「芸能記者型質問型」「過保護同意型」「おせっかい助言型」「冷静な学者型」「うるさい説教型」「ノー天気なごまかし型」等のタイプがあることを踏まえて、それぞれのポイントを整理しました。その後、実際のコミュニケーションの場面を想定しながら、話し手と聞き手に分かれて、相槌の打ち方や話を聞く態度など、やる気を引き出すコミュニケーションのコツを体験しました。

介護現場でのコミュニケーション・スキルを学ぶセミナーがこのほど、当センターで開催されました。昨年「チームのやる気を引き出すコミュニケーション」をテーマに、今回で3回目の開催となりました。講師は、前回と同じハッピービジョンの今野紀代実さんが担当しました。

意欲を引き出す話の聴き方 グループに分かれて質問のポイントやコツを学ぶ



福は内鬼は外 今年も福よ来い

節分で豆まき 赤鬼退散

2月3日の節分の日、デイサービスとグループホームに赤鬼がやってきました。突然の赤鬼登場に、ご利用者たちはびっくり。目を白黒させながらも、「うおー」と雄叫びあげる赤鬼めがけて、「鬼は外、福は内」と用意していた豆を投げ付けていました。赤鬼も、お豆の集中攻撃にたまらず退散。ご利用者たちは「今年も福は内、福は内」と笑顔を見せていました。

異常なしを確認 全館で消防設備を点検

在宅サポートセンター生田の消防設備点検がこのほど行われ、異常のないことが確認されました。

当センターは、火災を感知した際、自動的に消防署へ連絡が入る自動火災報知システムを導入しています。点検では、一階のデイサービス、2階のグループホーム、宅老所をはじめ、倉庫や会議室など全館に設置されている煙感知器、熱感知器の作動と消防署への通報システムの状態をチェックしました。

ひびき通信
平成30年3月版

グループホーム響で三月十六日に外部評価 介護サービス全般を点検します
グループホーム響の外部評価に関する訪問調査が、三月十六日に行われます。外部評価は、介護サービス全般について第三者が評価するものです。また、家族のアンケート調査なども同時に行われ、スタッフの対応なども評価の対象となります。具体的な評価結果は二カ月後に公表されることになっています。結果は後日、紙面で報告します。